

筑波大学比較・理論文学会 平成 26 年度活動報告

(以下の情報は 2015 年 2 月 4 日現在のもの、また本誌刊行日程の都合により平成 25 年度年次大会の記載を含む)

◎平成 25 年度筑波大学比較・理論文学会年次大会

2014 年 3 月 18 日 於：筑波大学総合研究棟 A205

- ・李文鎬（総合文学領域 5 年次）

伊藤輝夫『お笑い北朝鮮』における「インテリ主義批判」の意味

- ・黄益九（筑波大学外国語センター特任研究員）

引揚者と「民主主義」教育

——消されていく帝国の＜記憶＞

- ・江口真規（総合文学領域 4 年次）

留学報告：アメリカ・アーカンソー大学パインブラフ校における日本語・日本
文化教育活動を通して

- ・朱 衛紅（上海財經大学准教授）—配布資料のみ—

近藤芳美における中国体験

——第一歌集『早春歌』を中心に

※平成 26 年度年次大会は 2015 年 2 月 21 日に開催予定である。

◎博士学位請求論文中間発表会

2014 年 12 月 25 日 於：筑波大学第一エリア C 棟 504

- ・李文鎬（総合文学領域 5 年次）

現代日本作家による北朝鮮表象の研究

——1960 年代から 2000 年代を中心に

※同氏の博士論文構想発表会の情報は省略した。

◎博士学位請求論文公開発表会

2015 年 1 月 11 日 於：筑波大学総合研究棟 A110

- ・金普慶（総合文学領域 5 年次）
戦後民主主義と女性映画
——アメリカ占領期の溝口健二と〈女性解放〉

※同氏の博士論文中間発表会の情報は省略した。

◎中間評価論文公開発表会

2015 年 1 月 22 日 於：筑波大学第一エリア C 棟 504

- ・菅谷美佳子（総合文学領域 3 年次）
イギリス児童文学の第二次黄金時代における「場」の機能
——Green Knowe Books における「時」と「場」
- ・李佳呖（総合文学領域 2 年次）
三島由紀夫の作品における女性像の再考
——欠如と過剰を中心に

※上記 2 名の中間評価論文の構想発表会および中間発表会の情報は省略した。

◎中間評価論文公開発表会

2015 年 2 月 3 日 於：筑波大学人文社会学系棟 A203

- ・李珠姫（総合文学領域 2 年次）
15 年戦争期における生—政治の文化表象
——社会的マイノリティの排除 / 包摂の表現を中心に
- ・ヴァン・ロメル、ピーテル（総合文学領域 2 年次）
明治末期における日本文学と教育
——田舎教師の時代

※上記 2 名の中間評価論文の構想発表会および中間発表会の情報は省略した。